

第55回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年7月23日(月)18時30分から19時30分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 22人(欠席者6人)
出席委員 佐々木善信(会長)、浅野秀美、石坂卓也、小松日出雄、島田猛、鈴木和夫、
武谷宏二、田中一枝、戸田朝子、長瀬輝夫、牧野隆男、増田雅則、
矢田部正丈、山添登、山田攻、
荻原正樹(副会長)、岩本宏樹、上野洋樹、大野憲一、岡田賢一郎、
星野巖雄、宮崎治
(名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別50音順)
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、篁健二
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第54回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成30年4月～平成30年6月)について
 - ② 平成30年度の環境測定結果(平成30年4月～平成30年6月)について
 - (3) 施設見学会について
ふじみ野市・三芳町環境センター(平成30年6月18日実施)
 - 3 その他
 - (1) 第6回ふじみまつりについて
 - (2) 次回日程
 - 4 閉会

【配布資料】

- 【資料1】 第54回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2】 ごみ搬入・灰等搬出結果(平成30年4月～平成30年6月)
- 【資料3】 平成30年度の環境測定結果(平成30年4月～平成30年6月)
- 【資料4】 平成30年度地元協議会施設見学について
- 【資料5】 ふじみまつり開催概要(案)
- 【別添】 ふじみ衛生組合三調だより第16号

【 事 務 局 】

定刻になりましたので、第55回ふじみ衛生組合地元協議会を開催いたします。

皆様には、お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

それでは、本日の資料でございますが、次第にあります資料番号のとおり事前に配付させていただきました。

また、机上に用意いたしました「三調だより」第16号は、今月の上旬に、クリーンプラザふじみを中心とした半径500メートル圏内のお宅に配布したものです。

資料はおそろいでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今後の議事進行は会長にお願いいたします。よろしく申し上げます。

【 会 長 】

皆さん、どうもお疲れさまです。暑い中、集まっていただきありがとうございます。それでは、ここから私のほうで進行させていただきますので、皆さん、ひとつよろしくをお願いいたします。

本日は、合計で22名の参加、住民委員15人、組合委員が7人でございます。会議は成立しておりますので、進めさせていただきます。

それでは、報告事項に入りたいと思います。次第に従いまして、報告事項1番目の第54回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨についてということで、皆さん、事前にお配りされておりますので、ご質問、確認事項、ご意見、何かありますでしょうか。

特にないようでございますので、事務局のほうで公開の手続をお願いいたします。

次に、報告事項2番目、施設の運転結果について、①のごみ等の搬入・搬出から、お願いいたします。

【 C 委 員 】

それでは、お手元の資料21ページの資料2をお願いいたします。

平成30年4月から6月までのクリーンプラザふじみにおけるごみ処理実績につきましてご報告いたします。

上のグラフをごらんください。初めに、可燃ごみの搬入実績でございます。上のグラフの右下に記載のとおり、平成30年4月から6月までの三鷹市の可燃ごみの搬入量は7,323.79トンとなり、前年度同期比で50.47トン、約0.7%の増、調布市の可燃ごみの搬入量は8,756.13トンとなり、前年度同期比で136.55トン、約1.6%の増となりました。また、リサイクルセンターで発生した可燃性残さのクリーンプラザふじみへの搬入量は1,878.84トンとなり、前年度同期比で148.28トン、約7.3%の減となりました。次に、小金井市からの搬入量は766.69トンとなりました。

なお、小金井市からの搬入は平成29年度4月分から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行っております。

以上の結果、平成30年4月から6月までの可燃ごみの搬入量は1万8,725.45トンとなり、前年度同期比で95.22トン、約0.5%の増となり、前年度同期比ではほぼ横ばいとなりました。なお、小金井市分の搬入量を除きましても、38.74トン、約0.2%の増となり、前年度同期比ではほぼ横ばいとなっております。

次に、下のグラフをごらんください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び発電量・売電量についてご報告いたします。下のグラフの右下に記載のとおり、平成30年4月から6月までの焼却灰の搬出量は1,293.39トンとなり、前年度同期比で12.69トンの増、飛灰の搬出量は445.83トンとなり、前年度同期比で51.87トンの増、鉄分の搬出量は43.81トンとなり、前年度同期比で4.01トンの増、焼却量は1万4,874.70トンとなり、前年度同期比で734.79トンの増となりました。このうち、焼却灰、飛灰及び鉄分の搬出量合計では、前年度同期比で68.57トン、約4.0%の増となり、前年度同期比ではほぼ横ばいとなっております。また、発電量は7,941.55メガワットアワーとなり、前年度同期比で526.11メガワットアワーの増、売電量は5,719.46メガワットアワーとなり、前年度同期比で356.64メガワットアワーの増となりました。

なお、下のグラフにおきまして、焼却量並びに発電量及び売電量のグラフが下落しておりますのは、2炉あります焼却炉の法定点検により、2炉ないしは1炉を停止したことによるものでございます。

続きまして、22ページをお願いいたします。

平成30年4月から6月までのリサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績につきましてご報告いたします。

一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で2,300.50トンとなり、前年度同期比で16.99トン、約0.7%の減となりました。真ん中のグラフが調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で2,297.79トンとなり、前年度同期比で73.99トン、約3.3%の増となりました。一番下のグラフが両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で4,598.29トンとなり、前年度同期比で57トン、約1.3%の増となりました。

以上のとおり、平成30年4月から6月までの両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、前年度同期比ではほぼ横ばいとなりました。

個々の搬入量の実績のうち主なものといたしましては、三鷹市の不燃ごみの搬入量が前年度同期比で34.45トン、約7.7%の減となりましたが、中長期的に微減傾向にあると言えると思います。また、ペットボトルにつきましては、三鷹市の搬入量が前年度同期比で17.02トン、約10%の増となり、調布市の搬入量は前年度同期比で9.29トン、約3.9%の増とそれぞれ増加しました。

続きまして、23ページをお願いいたします。

平成30年4月から6月までのリサイクルセンターにおける資源物搬出及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。

上のグラフが有償・無償の資源物の搬出状況でございます。上のグラフの右に記載のとおり、資源物の搬出量の合計は2,473.87トンとなり、前年度同期比で200.96トン、約8.8%の増となりました。個々の資源物の搬出のうち主なものといたしましては、右側から3つ目の容リ・プラスチックの搬出量が前年度同期比で161.96トン、約16.7%の増となりました。これは搬出時期によるものでありまして、容器包装プラスチックの搬出量につきましては、年度ベースで見ますと、平成26年度以降ほぼ横ばいで推移しております。

次に、下のグラフをごらんください。逆有償の資源物及び熱回収搬出についてご報告いたします。下のグラフの右に記載のとおり、搬出量の合計は1,910.07トンとなり、前年度同期比で147.21トン、約7.2%の減となりました。個々の搬出量の実績のうち主なものといたしましては、リサイクルセンターで発生した可燃性残さの搬出量が前年度同期比で148.28トン、約7.3%の減となりました。

以上の結果、平成30年4月から6月までの資源物等の総搬出量は、右下に記載のとおり、4,383.94トンとなり、前年度同期比で53.75トン、約1.2%の増となりました。

平成30年4月から6月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明にご質問ありましたら、お願いいたします。

特にないようでしたら、次の平成30年度環境測定結果のほうをお願いいたします。

【 E 委 員 】

それでは、24ページをお開けくださいますでしょうか。まず、一番上の囲みからご説明いたします。今回につきましては、一応6月までの測定値となっておりますが、まだ結果が出てきていないものも大変多くありますので、ご了承ください。

まず、1号炉につきましては、年次点検がございましたので、5月から6月の中旬までにかけて年次点検を行って休炉したところでございます。それから、2号炉につきましては、こちらは6月から7月の中旬にかけて、こちらにも年次点検がございましたので休炉したものでございます。

続きまして、排ガス測定でございます。こちらにつきましては、4月の測定値のみの記載でございます。まず初めに、ばいじんにつきましては0.001g/m³未満でございました。硫黄酸化物につきましては1.2ppmが最高値でございました。塩化水素につきましても0.9ppmが最高値でございました。窒素酸化物につきましては34ppmが最高値でございました。それから、鉛、カドミウム、亜鉛につきましては0.004mg/m³N未満でございました。

それから、水銀につきましては0.00057mg/m³Nが最高値でございました。一酸化炭素につきましては2ppmが最高値でございました。ダイオキシン類につきましては、今回測定をしているものはございませんので、結果の公表はございません。

続きまして、騒音・振動・臭気・排水の測定値でございます。騒音につきましては、時間帯によりますけれども、49dBから56dBの間でございました。振動につきましては、午前8時から午後8時が38dB、それから午後8時から午前8時までが37dBといった結果が出てございます。それから、臭気指数につきましては10未満でございました。

それから、周辺大気の測定でございますが、こちらにつきましても、7月に測定をするところでございますので、今回公表するものはございません。

それから、放射能に関する測定でございます。焼却灰につきましては12Bq/kgが最高値でございました。飛灰につきましては72Bq/kgが最高値でございました。排ガスにつきましては、休止中のところもございまして、不検出でございます。排水につきましても、不検出でございます。

それから、空間放射線量率の測定でございます。こちらは地上5センチと地上1メートルのところで測定しておりますけれども、地上5センチのところでは0.09μSv/hが最高値でございまして、1メートルのところでは0.08μSv/hが最高値でございました。

私のほうからは以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。

今のご説明内容でご質問ある方、お願いいたします。

特にないようですので、次に進めさせていただきます。次は、施設見学会について、事務局から説明をお願いいたします。

【 事 務 局 】

資料の26ページでございます。6月18日月曜日午前中、埼玉県のふじみ野市・三芳町環境センターに見学に行っていました。

参加された方は3「参加者」のとおり、地元協議会の委員の皆様と、ふじみ衛生組合の職員等も併せて、参加者数は合計で23人でございました。

26ページの4(4)に、ふじみ野市・三芳町の環境センターの処理能力等とともにカッコ内にふじみ衛生組合の処理能力を記載しておりますので、ご一読をお願いします。

27ページから28ページに、今回、見学した施設を、見学者用のパンフレットから抜粋した写真や説明を、載せてあります。

ごみクレーンの操作室とか中央制御室も、土足禁止だったため、靴を脱いで皆様入られたと思います。あと、ごみクレーン、ピットや蒸気タービン、見学通路をたどり見学できたところであります。

続いて、28ページはリサイクルセンターの写真等をパンフレットから抜粋し載せてあります。

30ページと31ページには、は施設見学会後の質疑応答について、質問に

は「Q」、回答には「A」とし対応する番号を付けています。おおむね9項目になっております。やはり水銀の関係のご質問が出たと思います。

上のほうに、まず、ふじみ衛生組合では排ガスの減温塔を設置しているが、ふじみ野市・三芳町の環境センターで設置していないことについて、ご質問があって、Aの1番に記載しているようにエコマイザーを活用することにより、減温塔を設置しないで対応できているとの回答がふじみ野市・三芳町の環境センターの職員の方からございました。

2番目のところについては、水銀の連続測定結果についてのご質問、3番目、やはり水銀の関係の連続測定器の計測値が基準値を超えた場合の対応はどのようにしているかとの質問、最後の9番では、構内に設置してある太陽光パネルと風力発電等についてのご質問がありました。

質問と回答については、それぞれ資料30ページ・31ページに記載してありますので、ご確認をお願いします。

以上でございます。よろしくをお願いします。

【 会 長 】

ありがとうございます。

今、見学会についての概要説明がありましたけれども、追加で聞きたいこと、疑問点、見学会に参加された方、されない方のご質問ありましたら、この際お願いしたいなと思います。特にないですか。

質問等がないだけで進むのはいけないので、私から質問ということじゃないんだけど、言わせてください。先ほど事務局からご説明ありましたが、この参加者は全部で23人、内訳は地元協議会委員が9人、地元協議会の委員の方が自治会等の参加者を促して連れてきていただいたのが4人、住民側として13人なんです。それで、やっぱり平成25年に稼働してから5年になって、この施設の理解をもっと深めていく、ごみ、環境問題を広めていくためにも、理解者なり、関心を持っている方を増やしていくためにも、こういう機会をぜひ利用していただきたいなと思うんです。

そういう意味では、地元協議会委員は9人参加していただいたのなら、私としては、正直言うと9人連れてきてほしかったなと思うんです。世代交代していかないと、毎年毎年、今ここに列席いただいている方々は年をとってしまうわけですから、次に、この焼却場問題を語るときに、みんながつえをついてこないといけない羽目になってしまうということを危惧すると、やはり次世代の人たちを、第2グループをつくっていく責任は我々にあるんじゃないかと、大げさに言うと、そういうふうに感じます。

そういう意味で、このような機会をぜひ活用して、場が広がっていくように、議論の輪が広がっていくように、ちょっとしたチャンスでも捉えてやっていく。捉えてやっていっても、また、そこはいろいろな意見がありますから、必ずしもベクトルが一緒になるかどうかは別にして、とにかく場があるのであれば、その場を使わない手はないんだろうと思うんです。

ですから、施設見学会は年1回しかやっていないんですけれども、こういうときに、もう少し、このことに対して勧誘するすべを、今回は地元協

議会委員がちょっと横の人に声をかけて連れてきたという程度かなと思うんですけども、もうちょっと力を入れて、このことは来年について参考にすべきじゃないかなと、私自身はそういうふうに思っています。ぜひそのようにいくことを私は願っていることをご説明したかったということです。

以前、去年でしたか、やっぱりこの地元協議会をやっているときに、施設見学会のことで、じゃ、いつにしようかと協議した段階のときに、ある委員の方から、ウィークデーにやっているわけですから、結局行ける人が限られてくるというご意見がございました。私もこれには同調して、その旨、事務局には話をしたんですが、なかなか施設の受け入れの準備の関係があって、土日でやるというのは実際的には非常に難しいんだという説明がありました。

そのときに、ご質問された委員の方が私に言ったのが、「これだと、おじさんたちだけの見学会になっちゃうよね」と、ちょっと冗談で半分笑いながら、私にそういう話をされた。それも痛いところをついているところもあるし、それから、この環境問題をもっと輪を広げるという意味で、これは他人事じゃなくて地元のごみの環境問題なので、これを必要施設に本当にしていくためには、そういう場は逃がしてはいけないんじゃないかなと私は思います。

その点を、ご質問された方に返す意味でも、次の機会のときには、ぜひいろいろなところにチャレンジして、この第2グループになる人たちを、共鳴者を増やしていくことへの努力は、我々地元協議会委員及び事務局のほうでも、方法を工夫してもらいたいなと私は思っております。

ちょっと長くなりましたけれども、時間を使いましたが、今日は時間がたっぷりありそうだから、しゃべらせていただきました。どうぞ。

【 H 委 員 】

私はちょっと見学会には出席できなかったんですけども、今、この資料で、27ページ、28ページ、29ページのカラーの写真を載せていただいでいて、27ページ、28ページに関しては、ふじみ野市・三芳町環境センターの施設に当たるわけですか。29ページに関しては、ここのふじみ衛生組合のリサイクルセンターの写真なんですか。

【 会 長 】

よいご質問をいただいたようですね。

【 H 委 員 】

そういうふうに理解してよろしいのでしょうか。

【 事 務 局 】

説明不足で申し訳ありません。掲載した資料は、28ページは、ふじみ野市・三芳町環境センターのリサイクルセンターの機械選別の写真で、右の29ページは、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターの手選別の説明図を載せています。機械選別と手選別でだいぶ違いがあるため、比較しやすいように見開きとしたものです。

熱回収施設については、両者ともストーカ炉で類似した設備のため、ふじみ衛生組合の説明図は省略しています。

【 H 委員 】

多分、これを比較して両側に載せていますが、私は昨年11月の地元協議会委員の改選後の第1回会議が始まる前に、委員になってすぐにリサイクルセンターの見学がありまして、それに出席させていただいて、そのときにリサイクルセンターを間近で見せていただきました。そのときに、こっち側のエントツくんのあるほうは、とてもきれいなんですけれども、向こう側は人の手でたくさん分けていて、大変なお仕事だなと思いつつも見てきたんです。職員の方が、いずれここも建て替えをしてというお話をされたときに、なるほど、皆さん、いろいろお考えはあるんでしょうけれども、私個人として率直に、早く建て替えをしてあげたほうがいいんじゃないかなという印象は持ったんですね。

そういうことも踏まえながら、この見学会を実施されたんだと思うんですけれども、行かれた方が率直に、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターを見学されて、その後に三芳町のほうに行ってリサイクルセンターを見て、やはり違いというのはすごく感じたと思うんですけれども、率直にどのような感想をお持ちになったのか、ちょっと聞かせていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

【 会 長 】

ありがとうございました。

司会者が足りないものですから、司会者の補充をしていただいたような質問をいただきました。どうですかね。参加された方、ちょっとご感想を言っていただくとありがたいです。お願いします。

【 A 委員 】

言い出しっぺでもありましたので、そこまで言われると言わなきゃいけないかななんて思いつつ、おりました。

規模が比較的似ているということで選んだと思いますけれども、当初の目的は、リサイクルセンターを建て替えるという課題をふじみ衛生組合は負っているわけですから、そこの最新の施設を見に行こうじゃないかというのが、今度の目的だったわけですね。

焼却場が建っているところ自身も、ここは比較にならないんです。規模だけは同じぐらいですけれども、敷地は広大、都市の中にあるんじゃないかと、本当に全然違うところにあるとご理解願ったほうがいいんじゃないかと思います。

当初、私は思っていましたけれども、H委員がお考えになったように、ふじみのクリーンセンターは確かに、この暑いのに、どうやって仕事をしているんだろうと私もずっと思っています。ほんとうに塩でもなめながらやらないと、とてもできないんじゃないかと。だから、早い建て直しをしなければいけないと思います。

この写真のとおりですが、こちらのほうは、あまり人影がないですね。

ふじみに行かれると、人の動きが非常に目立つ、しかも狭いところで動き回っているというのが現状じゃないでしょうか。だから、施設も古いし、それから何もかも遅れているということだと思います。それで苛酷な労働条件、そういう課題を背負いながら、見学をしました。

この間も申し上げたと思うんですけども、ここで建て替えるのかという問題もあるし、それから、一時どこかに委託しなきゃいけないという問題も発生します。ですから、その間をどこかよそに置いて、やっぱりここで建て替えるのか、そういう課題もありますので、ぜひ情報を随時、地元協議会に流してもらいたいと思います。ある日突然なんていうこともありましたが、そうならないように、ぜひそういうことを注意してもらいたい、本当に新しい施設のもとで働いている方々の姿を早く見たいと率直に思いました。

以上です。

【 会 長 】

ありがとうございます。

ほかにどなたか、B委員。

【 B 委 員 】

30ページのクエスチョン3番について、まず水銀について、ここに回答も書いてありますけれども、三鷹、調布は水銀については非常にシビアな感覚を持っているんですが、言うなれば、少しラフな考え方かなというのが感想ですけれども、後で、またb副会長などに解説していただければいいと思います。

それからもう一つは、クエスチョン5番の焼却灰の処理については、全てエコセメント化していますというんですが、今、コンクリートの固まりぐあい非常に劣化しやすいとかいうふうになっていまして、これの強度というのは、例えば、エコセメント化した場合には強度はどういうものなのかな、もしそれをお聞かせいただければ幸いです。

以上です。

【 会 長 】

ありがとうございます。

お願いします。

【 b 副 会 長 】

まず1点目の水銀の関係でございます。連続測定値が基準値を超えた場合でも、ふじみ野市・三芳町環境センターでは稼働を停止はしていないというようなご報告を受けております。私どもは、地元協議会の皆様と、連続測定であっても超えた場合には焼却炉を停止するという事で環境保全に関する協定書を結んでおりますので、止めております。

ふじみ野市・三芳町環境センターでは、おそらく、そういった取り決めが近隣住民の皆さんとされていないのではないかとというのが1点。

あと、法律のことを申し上げますと、この4月から改正大気汚染防止法が施行されまして、国においても水銀を測定しなさいという法律はできた

んですが、あくまでも、それは排ガスの量に応じて、年2回又は3回のバッチによる測定を行うというようなことで、必ずしも、国としても連続測定を義務づけているというわけではございません。

そういった両方の面からいたしますと、やはり、ふじみ衛生組合の事例というのは、全国でも先駆けて、住民の皆様と協定を結んで行っているという事例だと認識しているところでございます。

2点目でございます。エコセメントと普通ポルトランドセメントの比較ということでございますけれども、強度等については特に遜色はございません。普通ポルトランドセメントと同等の強度がでございます。

ただ、J I Sという規格がございまして、普通ポルトランドセメントとエコセメントのJ I Sでの差は、塩素分の含有率が違っておりまして、普通ポルトランドセメントについては200ppm以下、エコセメントについては400ppm以下ということになっております。

したがいまして、鉄筋構造の高層の建設には、若干、エコセメントについては不向きなところがあるということがございます。一方、速乾性、固まりやすさは、エコセメントのほうが固まりやすいという利点もございまずので、それぞれ用途に応じて使い分けて使っていただいている状況だと認識しております。

【 会 長 】

ありがとうございます。ほかにはないですか。

今、この質疑応答のところを見ていただくと、地元協議会に関する項目として、クエスチョン4番のところは当たるんじゃないかなと思うんです。市民会議というのを向こうも持っていて、そこが地元の、先ほどA委員から、こことは立地条件が違っているの、広大な土地の中で、多分、土地が広いということで、自治会も我々のように、このような狭いところにたくさん自治会があるということとは違うので、4つの自治会の代表者と選ばれた方々と年2回の説明会、運営しての結果説明会をやっているということがありますけれども、我々のように、このように会を重ねているということでは、どうもないようです。

そういう意味では、都市部のこういう焼却施設と、いわゆる郊外地のところの立地条件は多分違うんだらうなと。あるいは運営の仕方も違うのかなと思ひながら、私は当日、話を聞いていました。

それでは、ほかにご質問がなければ、次のテーマということで、その他の項目になります。

【 L 委 員 】

私のほうからは、今回、第6回目となりますが、平成30年度ふじみまつりについてご報告をさせていただきます。

実行委員会に先立ちまして、6月21日に、ふじみまつりの準備会を開催いたしました。この準備会には、地元協議会会長、a副会長、I委員、G委員、J委員、5名の方に住民代表としてご出席を賜りました。ありがたいことに、5名の皆様それぞれ、今回も実行委員として活躍いただけると

いうことで、開催日を協議させていただきました。

32ページの資料5にありますとおり、開催日時につきましては、11月25日日曜日ということで決定をさせていただきました。例年同様、この日につきましては、三鷹市の市民駅伝が同日開催ということでありますので、かなり多くの来場者が予想されます。

準備会の中でもご意見が出ましたけれども、年々、来場者、あと出店団体も増えております。これは幸いなことに、毎回天候がよかったということが最大の要因だと認識しておりますが、今回6回目ということで、万が一、雨のことも考えられますので、そこら辺の対策を十分行ってほしいというご意見が出ましたので、事務局としても、そちらの対策を行いたいと思っております。

あと、当然、実行委員の方々を中心ということになりますけれども、地元協議会の皆様のご協力なくしては開催はできませんので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

【 会 長 】

ありがとうございます。

ただいまの説明にご質問ありましたら、お願いします。

特段ないようでしたら、とんとんと進んで、今までの最短コースじゃないかなと思うんですけれども、何と1時間かからないで、ここまで来てしまいました。次回の日程案を事務局からお願いします。

【 事 務 局 】

当初お示しした年間スケジュール案では9月という予定だったんですが、現在、緊急の案件等がないので、搬入・搬出関係の第2四半期の報告ができる10月、10月16日に専門委員会を予定しておりますので、その内容を報告できる翌週の10月22日月曜日又はその翌日の23日火曜日では、いかがでしょうか。

【 会 長 】

22日、23日の提案です。22日月曜日、23日火曜日ということで、22日のご都合が悪い方は手を挙げてください。欠席者どなたもないということで、22日にしましょう。出席者全員が大丈夫なので、23日の確認は省略します。

では、10月22日の月曜日ということでお願いいたします。

今日予定の案件はこれで終わりですが、その他もろもろ、ご質問、ご意見があればおっしゃってください。

【 G 委 員 】

放射能の測定に関してなんですが、既に5年間測り続けてきているんですが、あまり値が変わっていないのかなという気がするんですよね。ちょっと、まず年間、月々のデータ、初めから0.07 μ Sv/hだったり0.08 μ Sv/hだったり、0.09 μ Sv/hだったり記憶があるんですが、きちんと飛灰も含めまして、年間のトレンドを見たいなど。次回で結構ですので、ぜひ年間ト

レンドをお示しいただきたい。

なぜそんなことを言うかという、我々がこれを測定してもらったのは、福島原発事故で、ごみに混じって、そういう放射性廃棄物がもしかしてこちらに集まってくるかもしれない。そういうことのために、きちんと事前情報をとりましょうということでもらっているわけですね。基本的にそれが変わっていないとすると、それで、原発事故の放射線のセシウムの134と137でしたか、半減期が2年と30年だということですので、7年もたっていれば、ほぼ半分になっていますよね。データを見ると、セシウム134とセシウム137大体五分五分ぐらいですかね。そうすると、半分になっているはずだと。

それで、我々の持っているデータがそんなに変わらないとすると、2の放射性廃棄物をあまり深刻に考える必要はないだろうと。そうすると、こんなに毎月測らないといけないのかということになるので、そういうことを判断するためにも、一遍長期のトレンドで、この問題をやってみたらどうか。余計な、無駄だとは言いませんけれども、お金もかかることでしょうから、あまり意味がなければやめてもいいかなと、そういう判断のためにも、一度長期トレンドで見てはいかがでしょうかと。

お願いします。

【 b 副会長 】

今、5年分の過去のトレンドをということでございますので、次回、お示ししたいと思います。

全体の傾向としては、今、G委員さんがおっしゃったとおり、年々逡減傾向にあることは、私どもも確認しております。

それから、放射性セシウム濃度の測定の件でございますけれども、焼却灰と飛灰につきましては、日の出町の皆さんと東京たま広域資源循環組合の間で、公害防止協定がございまして、地元へ報告することとなっておりますので、逡減傾向でございまして、いましばらく続けさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【 会 長 】

ありがとうございます。

それでは、ほかになれば、これで地元協議会を閉会したいと思いますすが、特によろしいですか。

では、本日、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。